

【プレゼンテーション・トークスクリプト】

- ① 前回の個別相談ではいろいろ聞かせていただきありがとうございました。
お聞きした情報を基にして、石塚さんのご家族の相続対策について、今後どのように進めていくかについて、各方面の専門家の意見も聞きながらプランニングしましたので、お聞きください。
- ② まず最初に、前回の振り返りから行います。
約1時間ほどかけていろいろお聞かせいただいた情報から、私なりに石塚さんのご家族の相続対策については、石塚さん自身が解決したいという問題は
・自分が亡くなったあとの相続税について
というものでしたね。
より具体的に言うと、
・相続税がかかるのかどうか、かかるとしたら大体いくらほどなのか？
ということでした。
ただ、前回お話しを進めるうちに
・相続税以外にも解決しておく問題があるかもしれない
ということにお気づきになりました。それが、
・資産をスムーズに引き継ぐこと
・大切なご家族が争う相続、つまり「争族」にならないように今から準備をしておくこと
が大切だということです。
前回の面談を通して、私なりに石塚さんのお気持ちを整理してみたのですが、問題ありませんか？
- ③ 石塚さんの相続対策を進めていくにあたっては、幾つかの問題が複合的に絡み合っていますので、それらを同時並行で解決していく必要があります。
相続税の問題「だけ」にとらわれてしまうと、それ以外の「資産のスムーズな継承」や「争う相続を避けるための準備」が解決できないということが相続の現場ではよく起こります。
「木を見て森を見ず」といった偏った対策にならないためにも、幾つかの問

題を同時に解決していくためにバランスの良い対策を必要とするケースだと判断しました。

ここまではよろしいでしょうか？

- ④ それでは具体的にやるべきことを整理してお伝えします。

石塚さんの場合はまず

「相続税の試算」

をする必要があります。

この際サポートを必要とする専門家は「税理士」です。

相続税の試算にあたっては、石塚さん名義の財産をすべて洗い出すことから始めなければなりません。これがみなさん思いの外大変で、すごく時間がかかるという方が多い部分ですが、必要であれば川口がサポートします。

- ⑤ 相続税の試算ができたなら、次に必要になるのは

「相続税の納税資金の準備」です。

同時並行で「相続税の合法的な節税」についても検討が必要です。

また今お入りの生命保険が「相続の時に本当に役に立つ内容かどうか？」という検証も必要とします。

ここで必要になる専門家は「税理士」と「FP」です。

相続時精算課税制度という有利な税制を使った現金や不動産の生前贈与なども検討内容に入ってきますので、その場合は行政書士や司法書士のサポートを仰ぐ必要が出てきます。

- ⑥ その後には

「石塚さん名義の資産は誰がどのように引き継ぐか、の具体的な検討」

という段階に入ります。

石塚さんお一人の気持ちで決めていただいていいですが、関係者のみなさんがどのような気持ちをお持ちか、また石塚さんが事前にお伝えしておきたいことなど、お互いの考えを伝え合う「家族会議」という機会があったらとてもいいと思います。

家族会議はご親族だけで行うよりも、専門家が司会進行や資料作りをお手伝いの方がとてもスムーズに進みます。

⑦ ご家族との話し合いの場が持てたら、それは石塚さんの資産の引き継ぎだけではなく「石塚さんの今後」についてそれぞれの考えをお聞きするいい機会になります。石塚さんが心身ともに健康状態が悪くなってしまった時、どのような選択肢があるのか、誰が先頭に立ってサポートをするのか、そのために必要な法的な手続きはどんなものがあるのか、などについて話し合えるのは石塚さんもお家族皆さんも元気で良好な関係であるいまだからこそです。財産管理委任契約や任意後見人などの制度の利用を検討する際は、行政書士や司法書士のサポートが必要です。

⑧ また、相続というのは単発ではなく「連なり」で考える必要があります。石塚さんだけではなく、私も含めて世の中のすべての人が「いつなん時なくなるかわからない」という現実の中に生きています。ですから、石塚さんの場合は石塚さんご本人の相続対策だけではなく、石塚さんの奥様の相続対策やお子様の相続対策、我々専門家の間では「二次相続」「三次相続」という言葉を使いますが、正しい相続対策は少なくとも「二次相続」まで想定した準備を必要とします。

⑨ これら多くの問題は、今はそんなに目立たないかもしれませんが、このままの状態を放置してしまうといつか必ずとても大きな問題に発展してしまう種のような状態です。大きな問題に発展してから対処療法をしようとする、大きなお金がかかるだけではなく、現在良好なご家族の关系到大きな傷が入る可能性も十分あり得ます。問題が小さな今の中から対策を施しておくことが、最小の時間やお金やエネルギーで大きな効果を生むことになります。